



文化

墨俣一夜城「入館者100万人」達成しました！

平成3年4月に開館し、開館30年目を迎える墨俣一夜城（墨俣歴史資料館）では、令和2年6月6日に、入館者100万人を達成しました。記念セレモニーでは、達成者に、100万人目の証明書と記念品をお贈りし、お祝いしました。

また、これを記念し、墨俣一夜城において、登城記念証として、令和2年7月1日から「御城印」を発売しています。御城印とは登城の記念スタンプのようなもので、各地のお城で販売され、お城巡りを楽しむ人たちに親しまれています。墨俣一夜城にお越しの際には、記念に御城印を楽しんでいただければと思います。



記念セレモニーの様子



墨俣一夜城御城印(300円)



最上階の展望室からは長良川や金華山をはじめ、伊吹山・養老山脈などが一望できます。

【墨俣一夜城】

所在地：大垣市墨俣町墨俣1742番地1

開館時間：午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日：月曜日(祝日の場合はその翌日)、
祝日の翌日、12/29～1/3

入場料：一般 200円

大垣市教育委員会 〒503-8601 大垣市丸の内2丁目29
TEL(0584)47-8022(直通) FAX (0584)82-6385
Email : kyouikusyomuka@city.ogaki.lg.jp

— 法務省 人権啓発キャッチコピー —
「誰か」のことじゃない。
(「東京2020公認 人権啓発キャッチコピーコンテスト」最優秀作品)

みんなが学び交わり成長する 文教のまち大垣

大垣市教育委員会だより

はぐくみ

vol.15

発刊
令和2年
8月

市長と「大垣市版GIGAスクール構想」推進計画について意見交換しました！

市長と教育委員会は、教育についての施策などを協議する総合教育会議を5月29日に開催し、昨年の12月に国から発表されたGIGAスクール構想をもとに作成した大垣市版「GIGAスクール構想」推進計画について意見交換しました。

教育委員からは、「ICTを活用しながらも五感で感じられるような学びを大切に」、「ICTで先生の業務の効率化を図って、児童生徒に向き合う時間を作してほしい」、「不登校の子どもや病院に入院している子どもに学びの機会を提供してほしい」、「端末の整備だけでなく、運用面でも学校へのサポートは必要」などの意見が出され、市長と活発な意見交換を行いました。

ここで出された意見を取り入れながら、子どもたちにとってより良い教育環境を整備できるよう計画を進めて参ります。

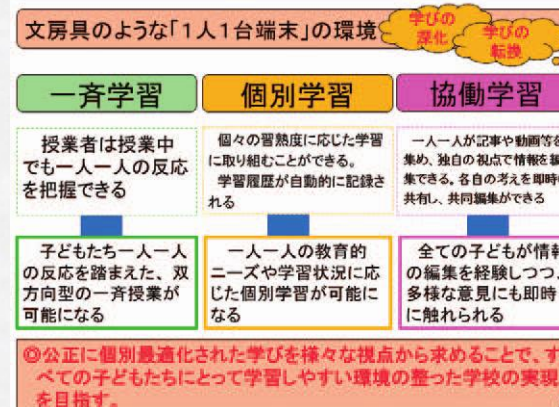


GIGAスクール構想って何？

GIGA※1スクール構想とは、児童生徒1人1台PC端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現する計画のことをいいます。

文部科学省は、GIGAスクール構想により実現する環境を「文房具のような『1人1台PC端末』の環境」と表現するとともに、こうした環境により、これまでの教育実践と最先端のICTのベストミックスを図り、児童生徒の力を最大限に引き出すことを実現させる必要があるとしています。

授業には、一斉学習、個別学習、協働学習等の学習場面がありますが、「1人1台PC端末」の環境により、それぞれの学習場面においてできることが増え、児童生徒の学びが深化、転換していくことが大きく期待されます。



※1 Global and Innovation Gateway for Allの略

図1 GIGAスクール構想図



学校

大垣市版「GIGAスクール構想」推進計画について！

国のGIGAスクール構想をもとに大垣市版「GIGAスクール構想」推進計画を策定しました。

1 目標

- 多様な子どもたち一人一人が確かな学力を身に付け、グローバルな時代を生き抜く資質・能力を育成します。
- 最先端のICTを駆使した学習者中心の主体的、対話的で深い学びを育てる授業を推進します。

2 方針

次の3つの方針により取り組みます。

- ①令和2年度内にICT環境の整備を行います。
- ②指定校においてICTを駆使した授業モデルの構築に取り組みます。
- ③教職員の働き方改革に資する取組として推進します。



3 期待される効果

大垣市版「GIGAスクール構想」推進計画により期待される効果は、次のとおりです。

【児童生徒にとって】

- 一斉授業の中で、一人一人が自分の考えや意見をリアルタイムに教員に示したり、表現したりすることが可能になります。
- 一人一人が自分の学習ニーズ(理解を深めたい、資料を探したい等)や、学習状況(習熟度、定着度等)に応じて、個別に学習することが可能になります。
- 協働学習において、収集した資料や試した表現、現在の考えなどを、即時・同時に仲間と共有し、効率よく学習を深めることが可能になります。
- 一人一人がICTを活用した経験が可能になります。

【教職員にとって】

- 授業で使用する資料等の準備及び提示が、短時間かつ簡便になります。
- 授業内における児童生徒の学習状況(興味・関心度、理解度、定着度等)をリアルタイムに把握し、指導に生かすことが容易になります。
- ドリルや評価テストの採点・集計作業及び評価・評定に係る時間が短縮できます。



【その他】

- 多様な教育的ニーズのある児童生徒の個別支援に活用できます。
- 緊急時(災害・感染症対策時など)における家庭でのオンライン学習に活用できます。



学校生活

学校での新型コロナウイルス感染症対策

大垣市では、6月1日から市内小中学校を段階的に再開し、そこから2か月ほどが経ちました。

学校では、『3密』の回避、『咳エチケット』の徹底など『新しい生活様式』を導入し、感染のリスクを可能な限り低減しつつ、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう取り組んでいます。



1 クラスターの発生リスクを下げるために

(1) 基本的な感染症対策

児童生徒に対し、手洗い(登校時や給食前、体育の授業後、外遊びの後、トイレ使用後教室に入る際など)、咳エチケット(マスクの着用)について指導しています。

(2) 校内環境

- ア 学校医や学校薬剤師等により、学校の衛生管理体制を確認しています。
- イ 校内に石けんや手指消毒用アルコールを設置するなど、手指衛生を保てる環境を整備しています。
- ウ 教室の窓やドアを休み時間ごとに開放しています。
- エ 適切な環境保持のため、授業時間中も十分に換気(気候上可能な限り常時、可能であれば2方向の窓を同時に開ける)しています。また、空調や衣服による温度調節を含めて温度、湿度の管理に努めます。なお、エアコン(ヒーター)使用時は常時換気しています。
- オ 教室やトイレなど児童生徒が利用する場所のうち、特に多くの児童生徒が手を触れる箇所(ドアノブ、手すり、スイッチなど)は、教職員により消毒液(消毒用エタノールや次亜塩素酸ナトリウム等)を使用して清掃を行うなど環境衛生を良好に保ちます。



2 コロナ禍で学校生活を送る子どもたちの声

早くいつもの生活にもどってほしいなと思います。給食が前と変わったり、本があまり借りられなかったりするのが大変です。今の生活が続くのは少し嫌だけど、感染しないためには仕方ないと思います。(小学校6年生)

グループで話すことが限られているから、前みたいに普通に話したいのに、できなくて残念です。続くことが嫌なので、しっかりと対策をしてコロナ感染者を少なくしたいです。(小学校6年生)

今まで経験したことのない新しい学校生活を送っている今、授業内の交流や教え合いが思ったようにできず、友達と体を一緒に動かすことにも、仲良く話すことにさえソーシャルディスタンスが必要になっています。そんな限られた生活の中でも、今の自分にできる事を考え、学校が少しでも明るい笑顔であふれるように色々な活動を行っていきたいです。気を緩める事は危険なので感染症対策を続けていきたいです。(中学校3年生)